

令和2年第10回大田市教育委員会臨時会会議録

令和2年9月16日午後2時、大田市役所4階小講堂において、第10回大田市教育委員会臨時会を開催した。

1. 開会及び閉会

開 会 令和2年9月16日 午後2時00分

閉 会 令和2年9月16日 午後3時55分

2. 出席委員の氏名

教育長 船木三紀夫

委 員 梶 伸光 竹下ちとせ 仲野義文 福間信隆 木村貴子

3. 欠席委員の氏名

なし

4. 傍聴人

なし

5. 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

川島教育部長 勝部総務課長 和田学校教育課長 遠藤石見银山課長
湊人権推進課長 三谷センター長 森総務課長補佐

6. 開 会

船木教育長開会を告げ開会

(1) 議題

教 育 長 これまでに学校のあり方に関する実施計画につきまして6回程、検討委員会を開催致しました。その中で色々な意見等々が出て参りまして、その内容に基づいて、この実施計画(案)につきまして、変更しなければならないところを変更させて頂く中で、今後の第7回・8回に向けまして、また、検討委員会に諮って、最終的な実施計画を作成したいと思っております。本日は、これまでに、検討委員会の委員の皆様から、それぞれのご意見・ご要望等が出て参りましたので、その内容に基づいて、既にお送りしていると思っておりますが、こちらの事務局としての案をお示しさせて頂いておりますので、この内容について、ご検討頂ければと思っております。

勝部課長 それでは、A4で主な修正箇所というのをお送りさせて頂いておりますが、併せて表紙の方に「令和2年9月修正案」と赤字で書いております実施計画(案)をお配りしているところでございます。赤字で書いてある方で主な修正箇所掲げているところを中心に、ご説明をさせて頂きたいと思っております。めくって頂いて2ページになります。基本的な考え方というのを、この実施計画(案)におきまして、これまでも示していたところですが、基本的には昨年10月に策定しました基本方針の内容を掲げておりました。基本方針におきましては、大田市の目指す学校作りの基本的な考え方というのを基本方針で示しておりまして、検討委員会の委員の皆様から、大田市がどのような基本的教育を進めて行くかということが、基本方針には記載してあるが、こちらにも詳しく記載すべきではないかご指摘があったものですから、基本方針に載せておらず、赤字で書いてある部分を追加させて頂いて記載をしたところでございます。そして4ページに移って頂きますと、ここからは学校再編の考え方を記載しておりました。(1)では施設一体型義務教育学校と特認校について、修正前、記載をしておりましたが、北三瓶小・中学校、志学小・中学校について施設一体型義務教育学校、あるいは特認校と記載をしておりました関係もございまして、どうしても施設一体型義務教育学校＝特認校であるというよ

うな捉え方をされる方が多くいらっしゃるものですから、この度、施設一体型義務教育学校と特認校を別立てで記載しております。先ず(1)では施設一体型義務教育学校のみ記載をしております。対象校としましては、従来と変わらず北三瓶小・中学校、志学小・中学校の施設一体型義務教育学校への移行を、地元と協議しながら検討するという形で記載をしているものでございます。(1)の最後のところで令和4年度の開設を目指すと記載しておりましたが、実施計画(案)の策定が長期化しておりまして、令和4年度の開設が可能かどうかと言うところもありますので、この目標年度については、この度、削除することにしております。また(2)は、小学校についてでございます。基本的には既存の小学校は、原則、再編はしないという、この考え方は変わってはおりません。ただ、但し書きのところで、委員さんの言葉を借りますと、夢や希望が持てる記述を考えて欲しいと、ご意見もあつたりしまして、計画期間中に1学年2名以下になる期間が3年を経過する、又は見込まれる、ここは変わっておりませんが、保護者・地域の方と将来の子どもたちの育ちを支える学びの環境について協議をするという形の記述に変えております。次に(3)中学校についてでございますけど、これまでの案では、1学年複数学級編成ということで記載をしておりましたが、多くの検討委員会の委員の皆様から、この1学年複数学級編成にこだわる必要はないのではないかと多くの意見を頂きました。こちらとしましても再度検討する中で、この表現を取りまして、再編を検討するという形での記述に改めさせて頂いております。1枚めくって頂きますと(4)幼稚園についてでございます。②のところに「幼児期の通級指導教室」とありますが、これは下の(6)に書いてあったものを幼稚園に係るものということで(4)に記述を移したものでございます。(5)については、年度表記を取りまして順番に①・②・③という記述に改めております。また5ページの1番下、通学区域の見直し、これについては従来の案で、町の区域、地域によっては鳥井町鳥越、これは大田小校区でありますし、鳥越自治会は大田町のまちづくりセンターのエリアでもありますし、自治会も大田町の自治会の区域に入っておられるということで、誤解が生じるということもあって、この度、この赤字のように案としては直しているところでございます。見直しの対象校としましては、大田小学校・久屋小学校と

記述をしております。1枚めくって頂いて6ページでございます。(9)校区外就学基準の見直しですが、先ずは、こちらも検討委員会の中で、ご指摘もございましたところではありますが、現在の基準、沢山の校区外就学の理由がございますので、もう一度検証し、将来的には、こちらに記載しております、学校生活の継続が困難な場合のみ認める方向で見直しをしていきたいという形に改めております。最後、特認校について、こちらに記載しております。特認校に指定する条件も示すべきであるというご意見もありますので、そういったところを定める中で、特認校を指定して行くという考えに改めております。次のページをめくって頂きますと、7ページからは重点的取り組みの実施について記載しております。当初の案では、ふるさと教育の中に一つの項目としてコミュニティ・スクールを記載しておりましたが、コミュニティ・スクールとふるさと教育は、それぞれ重要な項目で、別立てで記載すべきではないかのご意見もございまして、この度、コミュニティ・スクールとして一つの柱として別立てで項目を掲げて記載をしております。最初のところで、基本的な考え方をお示しして、①で学校運営協議会の設置であったり、地域学校協働活動の充実ということも書き加えたところがございます。8ページに移りますと(2)でふるさと教育を記述しております。ふるさと教育につきましては、いわゆるI・Uターン者だけでなく、観光客などの交流人口、あるいは色んな形で地域や地域の方々と関わって頂ける関係人口、こういった拡大についても記載をすべきというご意見もございましたので、前段の考え方のところで、そういった記述をしております。また、①のつながるふるさと教育の実現のところにおきましては、大田市ならではのものを、もう少し記述すべきというご意見がございました。そこで、赤字の最初の・(ポツ)のところで、世界遺産「石見銀山遺跡」あるいは日本遺産といった色々な資源等を活用した石見銀山学習であったり、日本遺産学習を充実させるという形で具体的に記載をしたところがございます。次のページをめくって頂きますと、9ページでは自立と共生について記載をさせて頂いております。最初の赤字の部分は基本的な考え方を示すべきだと、ご意見を頂いたので、こういった形で基本的な考え方の記載を加えております。それから①の二つ目の○のところで、当初の案では、乳幼児期からの読書習慣の定着と記載をして

おりましたが、大事なことではあります、一つの取り組みという
ことで、もう少し大きな括りで記載をすべきだというご意見が
ございました。多様で豊かな体験の充実ということで、この読書
もそうですが、色んな運動であったり、生活習慣、そういった力
を育てて行くという形で記述を加えております。②のところでは、
保・幼・小・中・高の連携についてでございますが、ここに○が
三つございますけども、例えば「子どもの育ちと学びのめやす」
であったり、「スタートカリキュラム」であったり、10 ページでは
「キャリアパスポート」の活用であったり、具体的に活用する冊
子であったり、ファイルであったり、それからカリキュラム、そ
ういったものを、それぞれの項目ごとにタイトルを付けまして、
それをどのように活用して、どう目指していくかということで、
基本的な内容は大きく変わってはおりませんが、分かり易く記載
方法を変えたところでございます。10 ページの方は、言葉の使い
方等を改めたものでございます。11 ページの方では、二つ目の・(ポ
ツ)で「大田市相談支援ファイル」、これは、少し戻って頂きますと、
9 ページの②保・幼・小・中・高の連携の中のところで載せてお
りましたが、どうしても特別支援教育に係るということで、こち
らに記載を移したものでございます。それから 12 ページから新し
く一つの項目として追加をしたものでございます。検討委員会の中
で、これからどういった教育に力を入れて行くのか、どういっ
たところを目指して行くのか、委員さんの言い方としては「未来
の教育」とか、そういった所の視点がないのではないかとというご
意見を受けまして、こちらに赤字で三点、① ICT活用教育の推
進・②英語教育の充実・③スポーツ教育(部活)という、これからの
教育の形ということで三つの項目を加えております。④の教職員の
働き方改革につきましては、当初の案では、一つの大きな項目
として挙げておりましたけども、こちらの新しい時代に向けた教育
に入れさせて頂いて、「校務支援システム」であったり、学校給
食会計の公会計化であったり、教職員自らの改革推進を含めさせ
て頂いたところでございます。13 ページでは④部活動のあり方の
見直しということで本来載せておりましたが、これについては 12
ページの③スポーツ教育の方で記載をしているということで改め
させて頂いたものでございます。以上で修正内容の説明を終わら
せて頂きます。

- 教育長 はい。事前にお配りさせて頂いたということで、1ページずつ、ご意見等ございましたらお願いします。
- 委員 1 ページ、「貢献をしよう」を「関わりを持とう」に改めただけですが、よろしいでしょうか。
- 教育長 (はい)
- 委員 2 ページ、「基本的な考え方について」若干、詳しく冒頭で説明をさせて頂いております。後半については変更等ございません。これについて、ご意見等ございますでしょうか。
- 梶委員 1 点目は、赤字の上から4行目と3行目のところの違い
「教育の魅力化」と教育の魅力・地域の魅力となっていますが、【化】が要りますか。敢えて【化】がないのですか。そして、三行目には「教育の魅力化」の「」（カッコ）がありますが、四行目は敢えて「」（カッコ）を外しているのですか。後で検討してください。また、下の(2)の最後の三行、「積極的に取り組めるよう、地域学校協働活動をはじめ、学校運営に関わるこれまでの様々な組織の整理・統合を積極的に行い、学校運営協議会を核とした仕組みづくりを進めます」とありますが、その中で、「地域学校協働活動」も整理・統合されるのか、「地域学校協働活動」と「様々な組織」の整理・統合なのか、両方ともに「整理・統合」が掛かっているのか。
- 教育長 地域学校協働活動は積極的に行います。ただそれを行うための組織が色々あるため、その組織を整理・統合するということです。学校に関係する事を地域の方々が色々する時に、それに携わる組織的なものが沢山あって、学校の先生方が一つ一つ付き合っていかなければならないということで、それを整理・統合する中で分かり易くして行こうという意味合いです。
- 川島部長 この三行目、「積極的に取り組めるよう、学校運営に関わるこれまでの様々な組織の整理・統合を積極的に行って、学校運営協議会を核に地域学校協働活動をはじめとした仕組みづくりを」というような形にすると分かり易いですね。
- 教育長 はい。他にはよろしいでしょうか。
- 委員 (はい)
- 教育長 3 ページ、これは「地域ごと」を外したということですね。
- 竹下委員 ここの中に、「支援施設とまちづくりセンターや放課後児童クラブ等が配置され」とありますが、教育委員会としては、例えば公民

館がある訳ですが、敢えてここで、まちづくりセンターとか放課後児童クラブだけが出てくるのが不思議に思ったのですが。

教育長
竹下委員
川島部長

子ども教室ということですか。

そうです。ああいったものは、この中に含まれないのでしょうか。

子ども教室については、小学校単位で、クラブか教室か、両方ある場合もありますが、そういった放課後の体制が整っているほうが望ましいです。

教育長
竹下委員
教育長
委員
教育長

付け加えます。

はい。

はい。それではよろしいでしょうか。

(はい)

続きまして、4ページでございます。4ページにつきまして意見等ございましたら、お願いします。これは年度については外す事に致しました。

仲野委員

4ページの(2)のところ、ふるさと教育のところ「」(カッコ)が付いていますが、他のところは付いていないところがあったりするのですが、使い分けがどうなのかと思ひまして。ここは、敢えて「」(カッコ)を付けた方が良いとは思ひます。

教育長
勝部課長
教育長

はい。統一しましょう。ふるさと教育のところ「」(カッコ)付けを。

はい。確認します。

私から一点。「中学校は、より多くの同世代の中で、学び合い学習等の機会を多く創出し、集団の中で多様な価値観に触れ」とうことで、全体的に将来的に触れて、「互いに認め合い協力し合うことを通じて、一人ひとりの資質、能力、可能性をさらに伸ばすことができる環境を目指し、その次に将来的な生徒数の推移を踏まえ再編を検討します」と言うふうにしたらどうかと。

福間委員

時代により複数学級の人数は変わってきているので、それでよいと思ひます。

梶委員

4ページ真ん中あたりの記述で「学校づくりを学校、地域住民、保護者とともに協議を進めます。」を「学校づくりを……とともに協議し、進めます。」とした方が良いのでは

仲野委員

「地域等と協議し、進める」という内容の記述が繰り返されるとくどのような印象を受けるのでは？

教育長

地域と合意の上で進めるという意味を伝えることと正しい日本語の文法という事から梶委員の意見に訂正しましょう。

教育長 はい。それではよろしいでしょうか。

委員 (はい)

教育長 続きまして、5ページでございますが、並びがしっくりこないの
で並びを変えて欲しいと思います。並び替えた順番に言うと
(4)特認校、(5)統合再編に伴う生徒の通学の確保、(6)通学区域の見
直し、(7)校区外就学基準の見直し、(8)幼稚園・・・の再編、(9)子
育てに関する総合相談窓口・・・、(10)統合再編に伴う・・・建
物の活用、というように学校から幼児教育の内容へと並びを変えて
欲しいと思います。

文章の訂正については、5ページの上の(4)「幼稚園は、大田
保育園と共に・・・」の部分の「大田保育園と共に」という言葉
が要らないのではないかと思います。それと②で「幼児期の通級
指導教室」の後に用語解説の※1とありますが、この※1を※2に
訂正するとともに、14ページの利用解説の※1※2を入れ替えて
欲しいと思います。以上です

梶委員 (7)の最初に「学校統合及び特認校」とありますが、「統合校」
ではないですか？ また、(8)には「・・・見直しにつ
いて」とあり(9)「・・・見直し」と表現が違うので統一して
(9)に合わせて良いのではないですか？削除するのであれば
目次も変更が必要です。

教育長 (8)の「・・・見直しについて」の「について」が要らないと
いう事ですね

福間委員 (7)の中にある既存の路線バスの活用が気になるのですが、と
言うのも、石見交通が今後のことをどう考えているのかという事
と、大田市は将来的に生活バスにしないと路線バスの時間に部活
動はもちろん、学校活動自体が制限を受けている実態があるので
大きな問題だが、市の問題としてバスの運営を検討する時期が来
ていると思います。

木村委員 大屋線は廃止決定されましたか？

川島部長 今年の4月から話が延びていますが、実施されるでしょう。
課題のある路線バスの活用という部分はスクールバスの配置とい
う表現に変更した方が良いでしょう。

教育長 はい。それではよろしいでしょうか。

委員 (はい)

- 教育長 続きまして、6ページでございます。
- ここでの特認校の記述と用語解説も含めてのことですが、特認校の記述をもう少し充実させる必要があると思います。
- 竹下委員 7ページの5 重点的取り組みの実施の中でコミュニティ・スクールの記述がありますが、特色のある学校というのは、この取り組みの中で実現できるのではないのでしょうか？このことはどの学校も、特認校と同様のことが出来るという事ではないですか？
- 梶委員 検討委員会の記録の中に、大田ならではの教育とは何かという記述がありました。このことを具現化したものが特認校ではないのでしょうか？
- また、教育長がここにその基準をはっきり書いておく必要があると言われましたが、通学困難な子どもが特認校に行くというマイナスのイメージが懸念されるので、そういう事ではないように基準が必要と思います。
- 仲野委員 竹下委員と同意見で、コミュニティ・スクールから特色のある学校というのは実現可能だと思います。不登校の子どもたちの受け皿は特別の条件を付けるという事で特認校でなくても出来るのではないのでしょうか。あえて特認校を設置するならもっと積極的な説得力のある理由が必要ではないかと思います。
- 福間委員 松江一中や出雲一中に居た時に、一クラスくらいの生徒が教室に入れないのを見て来ました。小規模校の合併の時にバスで登校するのであれば、そこに通学可能になるのではないかと思って見てきました、実際に北三瓶に通学して高校まで進学できた子どもの実例があったので、特認校のベースにはそういったことがあるという事は頭の中に置いて検討してもらいたい。
- 竹下委員 特認校のイメージは英語教育が突出しているとか、ICTが充実してるから来てくださいという感じだったんですが、GIGAスクールの実現で、どこでも学習の充実が図れるということになると特認校の位置付けは薄れて来るのではないですか。
- 教育長 小中一貫校で九年間のカリキュラムを組めて、義務教育学校になると小学校も中学校の教員が教えることが出来るなど、学習の面でもそこに行かせたい親もいると思うが、校区があるために行けない。このことを実現するための特認校という意味もある。
- 特認校については、指定条件を議論し、表現の仕方を検討します。
- 教育長 はい。それではよろしいでしょうか。

委員 (はい)

教育長 続きまして、7ページでございます。

竹下委員 質問ですが、①の学校運営協議会の設置とあるのですが、これはどこに設置するのですか？

教育長 学校に設置します、設置した学校をコミュニティ・スクールと言います。

仲野委員 文章から学校の負担が大きいように感じます、地域と対等に運営されることが望ましいかなと思います。

教育部長 ページの下のスペースに余裕があるので、イメージ図を入れた方が分かり易くなるかと思います。

梶委員 下から4行目については繋がりが悪くなったので、「各校の特色を生かすことができ、子どもたちには、」とした方が良いのではないのでしょうか？

教育長 はい、訂正します。それではよろしいでしょうか。

委員 (はい)

教育長 続きまして、8ページでございます。

①のところで、日本遺産学習の後に等を付けてください。

③のところで「義務教育学校と連携し、」という部分は不要では無いですか

梶委員 (2)ふるさと教育の中で「ふるさととは大事なもの」という言葉がありますが、大事の部分の補足が必要ではないですか？

「将来的にUターン者だけでなく、観光客などの交流人口や地域や地域の人々と多様にかかわる関係人口の拡大につなげます。」のところは文章の意味が繋がっていないのではないですか。

教育長 修正内容について検討します

福間委員 ふるさと学習の中に三瓶山のことが出ないのはなぜですか？

教育長 はい、訂正します。

教育長 それではよろしいでしょうか。

委員 (はい)

教育長 続きまして、9ページでございます。

竹下委員 多様で豊かな体験の充実の中に食育のことが出て来ても良いのではないのでしょうか？また今ある教育ビジョンに載っていることとないことがあるので、教育ビジョンと照らし合わせをお願いしたい。

教育長 点検して、包括した言い方になるかもしれませんが修正を検討し

ます。

梶 委 員 ①就学前、小学校低学年での基礎教育の充実の二つの○以下の順番を入れ替えた方が良いのではないのでしょうか？

同じく○学ぶ意欲の向上の所で「授業改善を行います」に訂正してはどうでしょうか？

教 育 長 はい、訂正します。それではよろしいでしょうか。

委 員 (はい)

教 育 長 続きまして、10ページでございます。

梶 委 員 「キャリアパスポート」の活用内容ですが、説明と継続の内容など流れがつかみづらいので内容記述の順など検討をされた方が良いのではないのでしょうか？

教 育 長 はい、考えてみます。それではよろしいでしょうか。

梶 委 員 中段 「学校訪問による教科指導」⇒「学校訪問による学習指導」
下から1行目 「一層の推進」⇒「一層の充実」

教 育 長 はい、訂正します。それではよろしいでしょうか。

委 員 (はい)

教 育 長 続きまして、11ページでございます。

仲野委員 特別支援教育支援員、特別支援学級補助員の配置のなかで充実という言葉が重なって使用されています。

教 育 長 はい、訂正します。表現の仕方を変えます。

それではよろしいでしょうか。

仲野委員 「インクルーシブ教育の推進」の11ページ2行目の「教職員の特別支援に対する理解」には技術的な部分は含まれないのですか？

和田課長 含まれていると認識しています。

教 育 長 それではよろしいでしょうか。

委 員 (はい)

教 育 長 続きまして、12ページでございます。

福間委員 ③スポーツ教育のところで学校における体育ではなくて体育活動ではないのでしょうか？

梶 委 員 ①ICT活用教育の推進のなかで、最後の行については「積極的に取り組みます」よりも「学習がさらに充実します。」程度の表現が良いのではないのでしょうか？

教 育 長 はい、検討します。それではあとは用語解説ですがよろしいでしょうか。

梶 委 員 14ページの「親学プログラム」の最初ですが、乳幼児から中学生

までの子を持つ親とした方が日本語としては、良いのではないで
しょうか？

教 育 長

以上でございます。

今色々と検討していただきました。これを更に訂正しましたもの
を、今度の定例教育委員会で再度お願いをさせて頂いて最終的に
了解頂いたのちに10月になりますけども、第7回の学校のあり方
の実施計画検討委員会を開催したいと思いますのでよろしくお願い
いたします。

以上で第10回の臨時教育委員会を終了させていただきます。ありが
うございました。次回9月24日木曜日午後2時からです。場所
は後日連絡します。宜しくお願い致します。

以上をもって委員会を閉会した。

以上の会議録は、前回の会議録として承認を終了した。

令和2年 9月24日

作成者 総務課長補佐 森 育雄

以上の会議録は、前回の会議録として承認を終了した。

令和2年 9月24日

教育長 船 木 三 紀 夫

委 員 梶 伸 光

委 員 竹 下 ち せ

委 員 伴 野 義 文

委 員 福 間 浩 隆

委 員 木 村 貴 子

Handwritten text, possibly a signature or initials, located in the center of the page.